

か
る
を

写真、霊峰森吉山の朝明け

広報

あ
い

1985

1月

No. 269

編集・発行 秋田県阿仁町役場総務課

あ

に

新年のあいさつ

阿仁町長 近藤竹雄



の方があなたに對しましては、心からお見舞申し上げる次第でございます。大変ご心配をおかけしておりますが、部落及び関係機関と充分協議の上、全力を尽くし、引き続きその対策を講じて参りたいと存じます。

あけましておめでとうございます。

昭和六十年代のスタートにあたり、町民皆様のご健康新年を祈り申し上げます。

昨年末、荒瀬部落に発生した土砂崩れ災害の被災者

稻作におかれましては、天候に恵まれ、大豊作を見ましたことは、今後の景気回復への期待とあわせて、明るい気持で新年を迎えることができました。

いま、二十一世紀を十五年後にし、活力ある地域づくり

の方があなたに對しましては、心からお見舞申し上げる次第でございます。大変ご心配をおかけしておりますが、

幸いにして、昨年七月国土計画より計画発表された森吉山大型スキー場建設は当面する町の最重要課題の一つとして、六十一年オーブンめざし、本年もその条件整備が急がれているところでございます。

加えて、これまで地域の経済はもちろん、交通文化の面でもさまざまな利益をもたらし、町民にとって

くり、町づくりをめざして全力を上げているところでございますが、今年は、昨年以上に厳しい財政事情下にあります。従つて、行政の運営にあたっては、更に全職員が一丸となって創意工夫を旨とし、施策の重点化、効率化につとめて参りたいと考えております。

幸いにして、昨年七月国土計画より計画発表された森吉山大型スキー場建設は当面する町の最重要課題の一つとして、六十一年オーブンめざし、本年もその条件整備が急がれているところでございます。

加えて、これまで地域の経済はもちろん、交通文化の面でもさまざまな利益をもたらし、町民にとって

ご同慶にたえません。今年は、第一十八回全県中学校スキー大会が三年ぶり、実に十回目の当町開催となりました。その成功と併せ、全町民の一致協力に対し、心からお礼申し上げます。

科医に黒川先生をお迎えし、医療の充実がより一層図られました。更には、基幹産業として地域と共存共栄の道を歩んできた農林業の振興はもとより、雇用の拡大と町活性化のため、町議会のご支援ご協力を賜り、英知を結集し、課題遂行のため邁進して参りたいと存じます。

どうぞ、町民の皆さんには、これまでにまして力強いご支援、ご協力を頂きまことに心からお願い申し上げ、私の年頭のごあいさつといたします。

小さな気くばり 大きな省エネ



2月は「省エネルギー月間」

つづけていますか、冬の省エネ」をキヤッチ・フレーズに、冬の省エネルギーを心がけたいものです。

特に、二月は寒さが最も厳しく、暖房用などのエネルギーが多く必要とされるため、毎年「省エネルギー月間」とされています。各ご家庭、職場でも、今一度エネルギーが無駄なく効率的に使われているかどうか点検してみましょう。

燃焼部分や反射板の手入れをよくしていますか

▼カーテンやカーペットを上手に利用して、熱を逃がさないようにしていますか

▼ドアや窓から、すきま風が入っていませんか

▼冬でも太陽が当たればとても暖かくなります。太陽が出ていたときは、カーテンを開けるなどして熱を十分に取り入れれば、暖房エネルギーの節約になります。

電気こたつは、局部的な

最近のエネルギー情勢は落ち着いており、今のところ、灯油不足などをきたす心配はありません。しかし、省エネルギーの目的は、わが国のエネルギー基盤の不安定さを克服していくこと、資源や環境を守るためにも、省エネルギーはたいへん大切のことです。

この冬も、「省エネは、いまの暮らしの身だしなみ。

17日	造林間伐推進全国大会出席(東京)
18日～20日	定例町議会
21日	森吉山スキー場用務(田沢湖)、鷹角線用務(県庁)で出張
22日	打当温泉スキー場開き
24日	全県中学スキー大会実行委員会
25日	荒瀬地すべり災害現地視察及対策会議
26日	畜産公社理事会
27日	荒瀬災害で課長会議
28日	森吉町外四ヶ町村病院組合議会(米内沢)
1日	建設技能組合新年会
2日	中央五ヶ部落新年会
4日	消防出初式
5日	出稼ぎ就労者懇談会
6日	中村小スキー大会
9日	鷹角線基金用務で県役場新年式
10日	銀山部落新年会刺交換会
11日	中村小スキー大会
12日	盛岡医大及鉄建公団
13日	古河林業株山神祭
14日	商工会新年会
15日	郷土文化保存伝承館

12月17日
(1月15日)
町長日記

消防出初式

再び年間無火災

達成を誓う



菊地収入役が辞任

つていました。

健康上の理由から

町の収入役、菊地稔郎氏（五十七歳）は、健康上の理由から辞意を表明していましたが、去る十二月十八日付けで辞表が受理されました。

菊地収入役は、五十六年

十一月に就任。五十八年夏に病気のため一時入院。五十九年二月再入院のため、

出納室長が職務代理者とな

病院事務長に佐藤（克）補佐

町職員の人事異動（一月一日付）

町立病院の高橋事務長の

退職などに伴う町職員の人

事異動が、一月一日付けで

発令になりました。

○町立病院事務長（町立病院事務長補佐）佐藤克巳

○町立病院事務長（財政課課長）鈴木勝信

○財政課課長兼務（財政課長）山田直義

○公民館主任（公民館主任）松橋敏晴

▽退職（十二月三十一日付）

○高橋正（町立病院事務長）

○伊東健一郎（大阿仁支所長）

○大阿仁支所長心得（財政課課長）鈴木勝信

○伊東健一郎（大阿仁支所長）

○公民館長（公民館長）柴田敏彦

○公民館主任（公民館主任）佐藤栄一

○公民館主任（公民館主任）柴田雅文

消防器の規格が変ります

今まで市販されていた消防器の「安全栓」が、操作しやすいように、すべて「上抜き」に統一されました。

新規格の消防器には、絵文字で使用方法がわかりやすく表示されています。

五十九年十二月一日から、

新しい規格に合格しないも

のは販売できなくなります

が、設置する義務のない一

般家庭に旧規格品の販売が予想されますので、十分ご注意下さい。

また、消防署と名乗る悪質な訪問販売など、消防器について不明な点について

は、鷹巣阿仁広域市町村圏組合消防本部（六二一一一九番）、または阿仁分署（八二一二一九番）へお問い合わせ下さい。

消防団員表彰者

△有功章
工藤公一 佐藤 力

△四十一年勤続章
渡勇次郎

△三十年勤続章
上杉義定 伊東繁雄
山田清美

△二十五年功労章
中嶋金治

△三十年勤続章
佐藤金一 佐藤奎一

△二十年勤続章
山田菊治 松橋益男

△二十年勤続章
三杉要吉

△十五年勤続章
加藤幸男

△十年精勤章
斎藤一雄 福田勝郎 柳谷千代衛 伊東喜代美 伊東孝夫 佐藤征支郎 山田文司 佐藤正明 佐藤政美 鈴木鉄雄 木沢忠 加賀谷金一 鈴木米孝 柴田敏彦 佐藤栄一 柴田雅文

非常口の確保を 冬囲いで危険です

近くに就寝させましょう。

また、これらの者だけを残して外出することは避けましょう。

四、二階以上の階では避難が困難となるので、避難用のロープやはしごなどを備えておきましょう。

五、方向の異なる二つ以上の逃げ道を決めておきましょう。

六、服装や持ち物にこだわらず、できるだけ早く避難しましょう。また、いつたん逃げ出したら、再び家中にはもどらないようになります。

七、衣服や持ち物にこだわらず、できるだけ早く避難しましょう。また、いつたん逃げ出したら、再び家中にはもどらないようになります。

八、衣服や持ち物にこだわらず、できるだけ早く避難しましょう。また、いつたん逃げ出したら、再び家中にはもどらないようになります。

九、衣服や持ち物にこだわらず、できるだけ早く避難しましょう。また、いつたん逃げ出したら、再び家中にはもどらないようになります。

十、衣服や持ち物にこだわらず、できるだけ早く避難しましょう。また、いつたん逃げ出したら、再び家中にはもどらないようになります。

三、身体不自由者、寝たきり老人、幼児などは、避難しやすく、救出、救助の容易な廊下、出入り口の避難の際に障害となるような物品を置かないようになります。

四、階段、出入り口などには、階段、出入り口などには、避難の際に障害となるような物品を置かないようになります。

五、階段、出入り口などには、階段、出入り口などには、避難の際に障害となるような物品を置かないようになります。

六、階段、出入り口などには、階段、出入り口などには、避難の際に障害となるような物品を置かないようになります。

七、階段、出入り口などには、階段、出入り口などには、避難の際に障害となるような物品を置かないようになります。

八、階段、出入り口などには、階段、出入り口などには、避難の際に障害となるような物品を置かないようになります。

九、階段、出入り口などには、階段、出入り口などには、避難の際に障害となるような物品を置かないようになります。

十、階段、出入り口などには、階段、出入り口などには、避難の際に障害となるような物品を置かないようになります。

初春を飾る恒例の消防出初式が四日、町民体育館で行われました。

式典に先立って、消防団、地域消防阿仁分署、婦人消防協力隊の総勢三百三十一名が、旧阿仁合小学校から町民体育館まで行進を行いました。

降りしきる新雪を踏みしめながら力強く行進、役場前で町長の問兵を受けました。

式典では、一昨年は年間無火災記録を達成しましたが、昨年一年間では四件もの火災が発生した事から、消防関係者が心をひとつにして防火活動に努め、再び年間無火災記録を達成しようと誓いました。

式典の席上、長年消防活動に献身してきた優良団員に、有功章や勤続章が贈られ、功績がたたえられました。また、五ヶ年無火災分団として第四分団（吉田地区）、

十ヶ年無火災分団として八分団（幸渡地区）などが晴れの表彰を受けました。

女子5キロ 片山(悦)が初優勝

— 第28回全県中学校スキー大会 —

一中男・女共に総合準優勝



【女子5キロ優勝の片山悦子さんの力走】吉田会場



複合二位、純ジャンプ三位の
沢井啓司君の豪快なジャンプ

女子リレー準優勝(一中)

明石(10号)・沢井(複合) 健闘二位

第二十八回の秋田県中学校スキー大会が十八日から二十日までの三日間、阿仁スキー場に五十七校、四百七十五名の、大会史上最高の参加選手を迎えて開かれました。

阿仁町で全県中学校スキー大会が開かれるのは、五

十七年以来三年ぶり、十回

目の開催となり、全町あげて大会運営にのぞみました。

大会初日の十八日は、午前十時から町民体育館で開

会式が行われ、地元、二中の佐藤歩君の歓迎のことば

に続いて、一中明石久伸君の力強い選手宣誓で大会の幕が開きました。

一方、複合競技では、一

中の沢井君が得意の距離で

大きく浮上して二位に、同

じく湊勇人君(三年)も五

位入賞を果たしました。

大会二日目の十九日は、

青空が広がる好天に恵まれ、

男・女回転競技と、吉田会

場での男子十キロ、女子五

キロ競技が行われました。

女子回転競技では、一中

の山田章子さんが、一年生

ながら果敢な滑りで四位入

賞を果たしました。

男子十キロ競技は、一中

の明石久伸君(三年)が、

一位こそ譲ったものの、強

敵を抑えて堂々二位の健闘

ぶりを見せました。

女子五キロ競技は、一中

の片山悦子さん(三年)が、

入賞者を除く十位以内

で入賞者を出した一中が、

男子、女子共に総合準優勝

に輝きました。

閉会式では、まごろ接待の民宿が好評を得たこと

など、町民あげての歓迎ぶりが感謝され、この大会を通じて友情の輪を広げた選手達は、握手を求め合つて再会を誓い、三日間にわたり大會の幕を閉じました。

※町内選手の成績(前述の

昨年の覇者、小坂中の木村選手を制して見事優勝しました。

一方、複合競技では、一

中の沢井君が得意の距離で

大きく浮上して二位に、同

じく湊勇人君(三年)も五

位入賞を果たしました。

大会最終日の二十日は、

前日とはうつて変るみぞれ

混りの悪天候となりました

が、日曜日とあって応援隊

がワンサと駆けつけ、大回

転競技とリレー競技に熱戦

を展開しました。

注目の女子リレー競技は、

一中が片山悦子さん(一年)、

加賀谷祐子さん(一年)の

メンバーで挑みましたが、

選手層で一枚上の小坂中に

惜しくも敗れ、二位となり

ました。

学校対抗の総合では、ア

ルベラン、ノルデック両部門



加賀谷、片山(悦)、片山(恵)の女子リレートリオ



(5) 第269号



1985年
昭和60年

農業センサス

昭和60年2月1日調査

(調査への御協力のお願い)

農林水産省では、本年2月1日現在ですべての農家を対象として、農業センサスを実施することとしています。



第30回阿仁部学童 第37回都市中学校 スキー大会

○2月9・10日(土・日)
○阿仁スキーチャン

地籍調査の 閲 覧

国土調査係からお知らせ

五十八年度に一筆調査した荒瀬全地域と、水無
地域の一部の本間覧を、次のとおり実施します。
▽閲覧地域——荒瀬全地域(法度山含む)・水無字露能
▽期 間——六十年二月八日～三月四日(但し、日・祝祭日は
除く)

森吉山阿仁国際スキー場の民宿をどうするか、といふことが当面の課題となっていますが、このたび、その対応の一環として民宿の先進地視察を実施することにいたしました。

りたい」という意向の方を
主に対象としていますが、
そのほかの方でも民宿をや
りたいという考え方の方があ
りましたら、次の要項で実
施しますので希望者は申し
込みください。

▽期日 一月三日(日)、
四日(月)、一泊二日

▽ 視察先 霧石町

▽ 経費 宿泊費ほか雑費共
は約一万円（交通費
は福祉バス利用）

▽ 参加申込 一月三十一日
まで役場商工觀光課へ
その他くわしいお訪ねは
二月三日、



県中スポット





湊和雄さん宅の被害状況



地すべり現場

荒瀬で地すべり災害発生

土砂、住家を直撃

年の瀬もおし迫った去る十二月二十四日夜刻、荒瀬で地すべりが発生、崩れた土砂は住家を直撃して突き破るなど、大きな被害をもたらしました。

町と部落、復旧作業に全力

地すべりのあったのは、

荒瀬段ノ上の湊和雄さん方の裏山で、幅約二十メートル、厚さ約二メートルにわたって崩れ、土砂は一気に湊さん方の車庫を全壊し、住家の柱や壁を突き破つて流れ込み、居間の一部を含む三部屋を埋めつくしました。さらに、町道を越えて三杉久治郎さん宅の玄関と物置きにも達し、柱を折り、壁を擊破し

ました。

被害は、住家二軒を始め、車庫と中の車をペシャンコにするなど、相当額に達しました。けが人がないのが不幸中の幸いでした。

町と荒瀬部落では緊急に対策を練り、復旧作業にあたりました。

住家に流れ込んだ土砂は寒波のため凍り、コンクリートのように固まってしま

郷里の鉄道にと五十万円

東京(笑内出身)の中嶋氏

郷里の新しい鉄道—秋田

内陸縦貫鉄道の運営基金にして下さいと、町出身の会

社社長、中嶋勝雄氏(四六歳)が、町を通じて五十万円を寄付して下さいました。

中嶋氏は、本社が豊島区にある、総合建物設備技術

保守管理などを営業種目とする「セントラル富士総業株式会社」のほか、数社を経営されています。昨年十

月には町に対して五十万円を寄付して下さいました。

中嶋氏は、本社が豊島区にある、総合建物設備技術

寄付金は、先の秋田市阿仁会からの五十万円といつしょに九日、町長から佐々木知事に渡されました。

町の新しい開発と、経済発展のカギを握る鷹角線に、多くの支援が寄せられています。

懇親会に入つてからは、留意されて、元気で頑張つて下さいとあいさつしました。

懇親会に入つてからは、民謡・歌謡ショーを楽しみながら、旅立ちの前の一日を、仲間どうしでゆつくり語り合つていました。

正月帰省に懇談会



出稼ぎの皆さん

「ごくろうさま」

冬期間、ふる里を離れて県外で働く、出稼ぎ者の皆さんの就労懇談会が五日、打当のふる里センターで開かれました。

これは、出稼ぎに行つている人達がお正月に帰省す

「打当のふる里センターで開かれた出稼ぎ者の懇談会」

る機会をとらえ、就労先の安全や待遇面などについて情報交換し合おうと、町が主催して毎年開いているものです。

会場に着いた五十名の出席者は、まず保健婦さんの前に座つて血圧測定など健

康相談を受けました。そして、隣りの健康管理センターの温泉につかり、仕事の疲れをいやしました。

懇談会では、町側から就労先の事故等に備えて、県

出稼ぎ互助会への加入をすすめ、出稼ぎに必要な知識について説明をしました。

そのあと、町長が森吉山

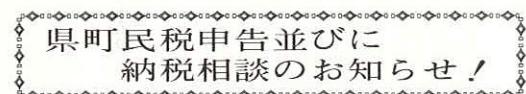
スキー場計画の進展状況や、鷹角線が第三セクターによつて運営されることが決まつたことなど、町政の動きについて報告をし、健康に

復旧作業には、町が民間からも機械を借り上げて取り組み、二十八日から通行可能にさせました。また、土砂と倒れた木でふさがれてしまった町道の

地すべりした現場は、再び災害が発生しないよう、緊急急傾斜地崩壊防止事業

で復旧することで協議していますが、とりあえず応急工事に取りかかり、地区住民の安全を守るために、万全を期することにしています。

納税者のみなさんへ



昭和60年度県町民税の申告並びに納税相談を下記日程で行いますので所定の場所、指定された時間内において下さるようお願いします。

申告部落	申告月日	時 間	申告場所
打当・前山	2月12日	火 午前10時～午後3時	打当温泉
中村・打当内	火	火	中村公民館
戸鳥内・相木沢	2月13日	水	戸鳥内福祉館
小倉・野尻・鳥越	2月14日	木	小倉児童館
幸屋	木	午前10時～午後1時	幸屋児童館
菅生・長畑・羽立・牛滝	2月15日	金	午前10時～午後3時
笑内	金	金	笑内児童館
比立内新町・新中	2月18日	月	午前10時～午後4時
比立内下町・鳥坂	2月19日	火	農村改善センター
幸屋渡・岩野目沢	2月20日	水	タ
根子	木	午前10時～午後3時	根子児童館
伏影	金	午前10時～正午	伏影児童館
萱草	金	午前10時～午後3時	萱草児童館
湯口内	2月25日	月	湯口内部落会館
小淵	月	タ	小淵児童館
畠町・上新町・下新町	2月26日	火	午前9時～午後4時
水無・畠町東裏・荒瀬川	2月27日	水	山村開発センター
荒瀬・向岱1組～7組	2月28日	木	午前10時～午後3時
荒瀬8組～12組・小沢	3月1日	金	タ
吉田	3月4日	月	吉田児童館
下小様	3月5日	火	小様児童館
土倉地区	火	午前10時～午後2時	戸嶋鶴男宅
上小様(土倉地区除く)	火	火	旧三枚小学校

◆申告期限は3月15日です◆

また、林業作業用具として、手工具類の整備、点検方、林業機械として刈払機、チエーンソー等の日立、整備、点検、操作などを、秋田市下浜、五城目町、岩城町、男鹿市、田沢湖町など各現場において作業をして体得してきました。

また、林業実験林の状況などの講義のほか、森林組合の活動状況というテーマでは、仙北東森林組合での視察、また、長伐期優良林視察では、田沢湖町の千葉仁氏所有林で学びました。

また、林業作業用具として、手工具類の整備、点検方、林業機械として刈払機、チエーンソー等の日立、整備、点検、操作などを、秋田市下浜、五城目町、岩城町、男鹿市、田沢湖町など各現場において作業をして体得してきました。

また、林業作業用具として、手工具類の整備、点検方、林業機械として刈払機、チエーンソー等の日立、整備、点検、操作などを、秋田市下浜、五城目町、岩城町、男鹿市、田沢湖町など各現場において作業をして体得してきました。

正しい申告と納税を

大館税務署員による～

～昭和59年分所得税納税相談日程

日程	曜日	相談地域	相談会場	開始時間
2.27	水	阿仁町	阿仁町開発センター	午前10時より

貸し手農家は

農地流動化 奨励金が

もらえます

奨励金 10a 当り

3年～5年設定 1万円

6年～9年設定 2万円

10年以上設定 3万円

農用地利用増進事業は、農地法によらないで、市町村が農家の申し出により権利の設定、移転の計画をまとめた「農用地利用増進計画」を作成し、農業委員会の決定を経て公告することによってできる事業です。安心できる農用地利用増進事業を活用して、地域農業の見直し、活力ある村づくりを進めでみませんか。農地の貸し、借りについては、農業委員会に気軽にご相談下さい。

林業研修の報告(吉田の梅井さん)

昨年五月から十
一月までの、百二十日間におよぶ林業技能者育成研修を修了した、吉田の梅井金一郎さん(三十七歳)から、報告がよせられましたのでご紹介します。この研修は、伐木、造材、集運材等の、特殊技能者を育成するため、秋田県が実施しているものです。

まず最初に、県並びに町及び森林組合のご理解、ご協力のもとに、去る五月二十八日より十一月十日まで、正味百二十日間にわたる長期の研修を、秋田県林業センターにて無事修了することができましたことを、厚くお礼申し上げます。

基幹林業技能者育成研修も今年で四年を経過し、今度第四期研修生は県内各町村から私を含めて十名が受講しました。研修内容につきましては、林業労働問題、木材の流通、需要動向、市況、特殊林産物生産の現状と課題、特用樹実験林の状況などの講義のほか、森林組合の活動状況というテーマでは、仙北東森林組合での視察、また、長伐期優良林視察では、田沢湖町の千葉仁氏所有林で学びました。

これら下刈、間伐、除伐、枝打、造林作業の他にも、林業架線による集材作業、バックホー、トラクターによる作業道作設等、本研修における作業能率の向上、及び安全作業にあることから、労働安全衛生法、及び規則に係わる次の資格、免許を取得しました。

研修主体は、機械作業における作業能率の向上、及び安全作業にあることから、労働安全衛生法、及び規則に係わる次の資格、免許を取得しました。

これらの資格、免許は、今後は、本研修で学んだ知識と技術を生かして、基幹林業労働者として阿仁町の地域林業の振興と発展に少しでもお役に立てたらと思っております。

林業技能研修に参加して

阿仁森吉森林組合 梅井 金一郎

～保健婦だより～

ぼうこう

膀胱の病気の言い伝え

◎辛いもの、塩辛いものを食べると膀胱を悪くする？

辛いもの、塩辛いものと膀胱炎の関係は、はつきりしません。これらのものを食べると、どうしても喉が渴いて水分が多くとり、尿中のナトリウムが高くなると尿量も増しますから、多尿の傾向となります。これが、膀胱炎の時の頻尿と混同されて、言い伝えとなっているのではないでしょうか。

食べものと膀胱炎の関係は証明されていませんが、ある種の化学物質（色素が多い）と膀胱がんの発生との間には、明らかな因果関係があります。絵筆をなめなめ図柄を描く、友禅の手書き職人に、職業性膀胱がんがよく見られます。普通の絵具やクレヨンなども、決して安全とはいえません。

◎冷やすと膀胱炎になる？

冷やすと膀胱炎になることはありませんが、慢性膀胱炎の患者は、ちょっとしたことをきっかけにして、症状が悪化する場合はよくあり、お腹を冷やしたことが、そのきっかけになる可能性は考えられます。

○膀胱炎は、細菌が膀胱に入っておこるもので、頻尿（小便が近い）排尿時痛（小便をする時痛む）、血尿（小便に血が混じる）を三大症状とします。ただしがんや結石でも、まったく同じ症状が現れるので、症状からだけでは判断することはできません。

細菌性の急性膀胱炎は、女性はよくかかりますが、成人の男性にくることはまずありません。男性に膀胱炎症状が現れた場合は、必ずよく調べてもらう必要があります。

母子手帳交付日

支所 2月5日(火) 午前9時半～12時
本庁 2月8日(金) 午前8時半～午後4時半

※妊娠証明書はいりません。

善意

老人ホームに

慰問

- 上新町の大井伊佐男さん からみかん二箱。
- 水無の小武海芳雄商店から 清酒、ジユース、サイダー、開運石ケン、餅米を持参して餅つき慰問。
- 下新町の田口ユキ魚店から 鮎の新鮮な魚を貰う。
- 下新町の梅村イマ商店から 梅干しを貰う。
- 下新町の品川区の庄司スープバーから みかん一箱。
- 下新町の近藤豊子商店から みかん一箱。
- 吉田の加賀豊商店から みかん二箱。
- 横町の佐藤里子さんから みかん二箱。
- 東京都品川区の桜井京子さんから現金六万円。
- 戸島内の高美工務店高堀美範さんがホームの小破修繕奉仕。
- 畠町東裏の松橋静子さんが入所者の散髪奉仕。
- 比立内の松橋金融さんから 現金六万円。

原忠美会長、外十四人）で、清酒、ジユース、サイダー、開運石ケン、餅米を持参して餅つき慰問。

○日本専売公社大館営業所長からたばこ二百四十五コ。

○千葉県越智町の山口浩三、日出世さん（眞木出身）から靴下五十足。

○鷹巣町の千秋軒カメラ店からみかん一箱。（亡母・ミツ）二万円。

○荒瀬の齊藤市蔵さんから（亡母・キエ）一万円。

（亡母・ナカ）三万円。

○新町の栗谷幹丈さんから（亡父・祖健）五万円。

（亡母・ミツ）二万円。

○小渕の菊地幸藏さんから（亡母・キエ）一万円。

（亡母・ナカ）三万円。

○新町の栗谷幹丈さんから（亡父・祖健）五万円。

（亡母・キエ）一万円。

（亡母・ナカ）三万円。

（亡母・キエ）一万円。

（亡母・ナカ）三万円。